

## R2 全校朝会 校長講話「感動したこと～喜怒哀楽の熟語を通して～」

令和2年10月26日

今日は、「喜怒哀楽」の四文字熟語から話を始めます。

(「喜怒哀楽」の文字を各教室に掲示してもらう。)

人間がもついろいろな感情(気持ち)を表す漢字が並んでいます。低学年の皆さんがまだ習っていない漢字もありますので、説明をします。

「喜」は、嬉しく思ったり喜んだりする気持ちです。

土曜日、20周年の記念品をいただいているとき、皆さんがこの喜んだ気持ちになっていることが、表情から伝わってきました。

「怒」は、怒ったり腹を立てたりする気持ち

人から嫌なことを言われたり、されたりしたときもつ気持ちです。

「哀」は、悲しくなったり、心が痛んで泣きたくなったりする気持ちです。

飼っていた生き物がなくなってしまったときの気持ちです。もしかしたら人から嫌なことをされて、腹が立つというより、悲しくなる人もいるかもしれませんね。

「楽」は、楽しいなとか、満足したなという気持ちです。

好きな遊びをしたり、美味しいものを食べたりしたときに感じられる気持ちです。

2年前に亡くなっていますが、桂歌丸さんという、有名な落語家がありました。この方がおっしゃっていた言葉です。

「人を泣かせることと人を怒らせること、これはすごく簡単ですよ。人を笑わせること、これはいっちゃん難しいや。」

私は、この言葉を聞いて、確かにその通りだと思いました。

「喜怒哀楽」の熟語でいうと、まん中の2つ、人を「怒」と「哀」の気持ちにさせることは簡単で、両端の、人を喜ばせ、楽しい気持ちにさせることは大変なことだということです。

私は、なぜ、人を喜ばせることと楽しませることが難しいのか考えました。

人を怒らせたり悲しませたりするには、自分の気持ちを相手にぶつけるだけでできます。しかし、喜びと楽しさはそうはいきません。「こうしてあげたら喜ぶだろうな、嬉しいだろうな。」と相手の気持ちを考えるという「力」が必要になってくるからです。

教室を見まわして友達の顔を見てください。自分が嬉しいこと、喜ぶことをしてくれる友達がクラスにはいるはずです。その友達は、この「相手の気持ちを考える力」を発揮している素晴らしい人なのです。

2学期が始まって2か月が過ぎ、2学期の半분이過ぎました。

今までの生活を振り返って、友達を怒らせたり、悲しませたり、歌丸さんが言うところの、「簡単にできること」ばかりしてきた人はいませんか。いつまでも「簡単なこと」ばかりしては、成長はありません。2学期後半は、ぜひ仲間を喜ばせたり、楽しませたりする「力」を伸ばして行ってほしいと思います。これはきっと自分にも返ってきます。

そして私は、楽しませたり喜ばせたりすること以上に難しいことがあると思っています。それは、人を感動させることです。本を読んで感動した、体を張って人を助ける姿に感動したなど、素晴らしい作品や行動に出合い、心が強く動かされたときに「感動する」の言葉を使います。

私は、この「感動する気持ち」を土曜日の式典に参加をした6年生の態度で感じました。6年生の「絶対に成功させるぞ。」という気迫！集中力！本気！私の他にも6年生の「児童の言葉」に感動をし、涙を流している方が何人もいらっしゃいました。

11月には、全ての学年が、おうちの方々に向けた学習発表を行います。1年生は国際科の発表、2年生は群読、3年生は音楽発表、4年生は二分の一成人式、5年生はSDG'sの発表、6年生は劇と聞いています。今回の6年生のように、皆さんが本気で取り組む姿が見られることを楽しみにしています。これから本格的に始まる練習や準備を観に行かせてもらいます。がんばりましょう。